

具体化。

# 株主のみなさまへ

第103期 中間報告書

平成23年1月1日 ▶ 平成23年6月30日





## 第103期の中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 市川 秀夫

本年3月の東日本大震災で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

当上期におけるわが国経済は、第1四半期（1月～3月）においては、企業収益が改善するなど持ち直しの過程にありましたが、3月に発生した東日本大震災の影響により、生産活動が低下するなど一転して弱い動きとなりました。第2四半期（4月～6月）においては、景気は電力供給の制約や原子力災害等の影響により依然として厳しい状況にあるなか、生産や輸出等に上向きの動きがみられるようになりました。

このような情勢下、当社グループは、本年より、個性派化学をさらに進化させ、強力かつ多様な事業群をグローバル展開することにより各市場におけるリーディングポジションの確立を目指す連結中期経営計画

「PEGASUS（ペガサス）」を始動させ、鋭意、推進してまいりました。

これにより、当上期の連結営業成績について、売上高は4,165億27百万円（前年同期比8.4%増）となり、営業利益は221億0百万円（同24.5%増）、経常利益は180億55百万円（同28.5%増）となり、四半期純利益は東日本大震災の影響による特別損失の計上等はありましたが78億10百万円（同1.4%増）となりました。

中間配当につきましては、主力事業であるハードディスク、黒鉛電極に加え、リチウムイオン電池向け部材などの成長・育成事業へ積極的な投資を行うため、見送ることとさせていただきます。株主の皆様には、何とぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

当下期については、米国・欧州経済への不安、原材料価格の高どまりや為替の急激な変動の影響も引き続き懸念されることから、当社グループを取り巻く事業環境は予断を許さない状況が予想されます。当社グループ一人ひとりが最後までやりきる強い意志をもって「PEGASUS（ペガサス）」を具体化してまいります。

株主の皆様におかれましては、何とぞ格別のご理解をいただき、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## CONTENTS

株主の皆様へ	1	連結財務諸表	7
ペガサストピックス	2	会社概要	9
事業別の概況	3	化学のチカラでひとつひとつカタチへ。	10
トピックス	5		

## ハードディスク(HD)の生産能力増強完了

千葉県・山形県・台湾・シンガポールの各拠点で2010年4月より実施してきましたHD生産設備の能力増強については、本年6月に一連の工事を完了しました。大容量HDの需要拡大に対応した能力増強により、全拠点での生産能力は月産2,700万枚となりました。HDDドライブの中期的な需要は、世界的な情報量の増加と新興国向けのパソコン、データセンターやクラウド向けサーバー、デジタル家電向けなどに年率8%程度の伸びが期待されています。



昭和電工HDシンガポール社

トンとすることを、本年2月に決定いたしました。今回の生産能力の増強により、最大消費国の米国における電極需要の回復に対応するとともに、高い経済成長が続く中南米向けへの販売も強化します。また、欧州や高成長が予想されるアジア、中東、ロシアなどでの需要増への対応も含めて、日米の両拠点でフレキシブルなサプライチェーンを構築いたします。



昭和電工カーボン社

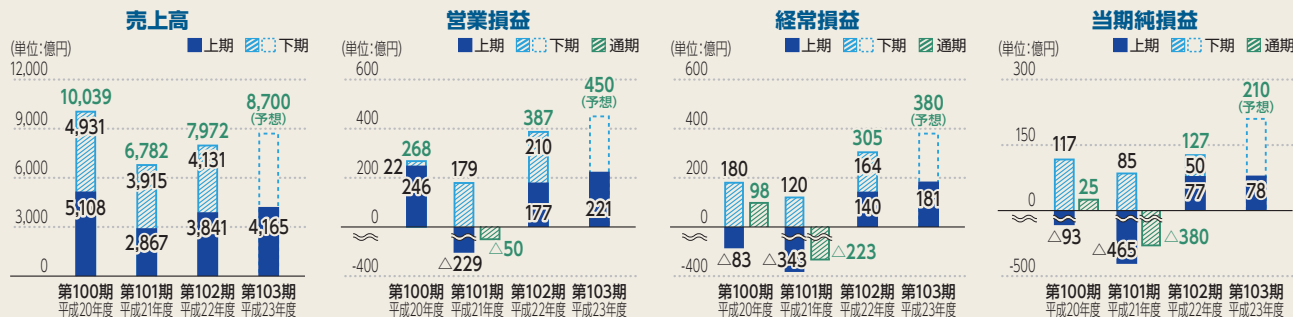
## 黒鉛電極の生産能力増強を決定

米国サウスカロライナ州の昭和電工カーボン社における黒鉛電極の生産能力を2013年末までに現状の年産4万5,000トンから7万5,000トンに引き上げ、大町事業所(長野県)と合わせて年産13万5,000

### 東日本大震災の影響について

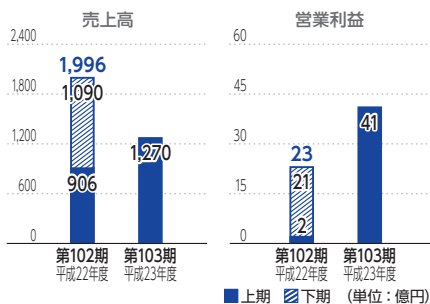
当社グループは、東日本大震災により、東北・関東地区事業所の操業を3月16日まで原則停止しました。3月17日より基礎化学品を中心に、飲料水、食料、医薬、発電等の供給に必要かつ社会的に緊急性の高い製品の生産を優先して再開し、段階的に稼働率を上げ、3月末までには各生産設備ともほぼ通常運転に回復しております。

## 連結業績ハイライト



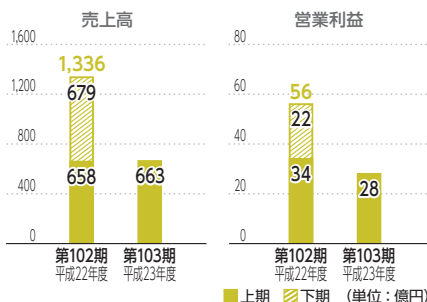
## 石油化学部門

オレフィン事業は、販売数量の増加と原料価格上昇に伴う販売価格の上昇により増収となりました。有機化学品事業は、アリルアルコール等の販売数量増加と原料価格上昇に伴う販売価格の上昇により増収となりました。



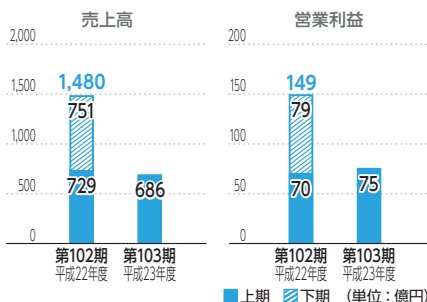
## 化学品部門

液化アンモニアは、販売数量が減少し減収となりましたが、半導体向け特殊ガスは、販売数量増加により増収となり、アクリロニトリル、合成ゴム「ショウブレン®」、機能性高分子事業は、販売価格の上昇により増収となりました。



## エレクトロニクス部門

ハードディスクは、販売数量が第2四半期には回復しましたが、第1四半期での減少が影響し上期通期では減収となりました。化合物半導体は、販売価格の低下により減収となりましたが、レアアース磁石合金は、原料価格高騰に伴う販売価格の上昇により増収となりました。



28.8%  
石油化学  
部門

15.1%  
化学品部門

15.6%  
エレクトロニクス  
部門

9.1%  
無機部門

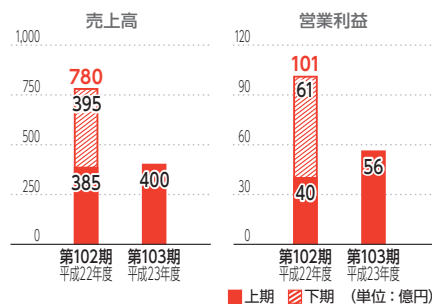
14.0%  
アルミニウム  
部門

17.4%  
その他部門

売上高構成比率

## 無機部門

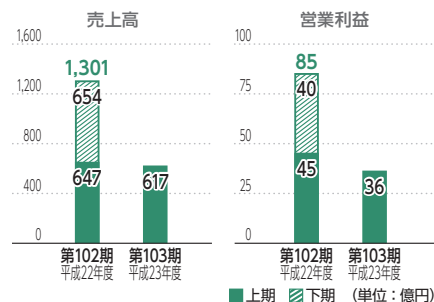
黒鉛電極事業は、顧客業界である電炉鋼業界の稼働率上昇に伴い販売数量は増加しましたが、円高もあり減収となりました。セラミックス事業は、電子材料分野向けを中心に増収となりました。



## アルミニウム部門

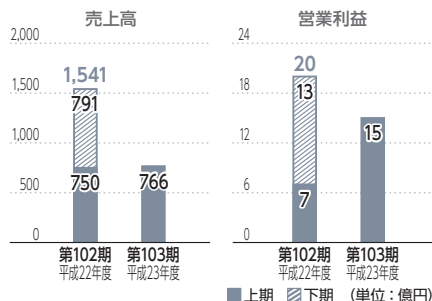
圧延品事業は、コンデンサー用高純度箔については、顧客業界が東日本大震災の影響を受けたものの、その後の急速な生産回復による販売数量増加により増収となりました。押出・機能材事業は、レーザービームプリンター用アルミニウムシリンダーの販売数量が減少し減収となりました。

自動車空調用熱交換器事業は、東日本大震災の影響を受けた自動車業界の生産減により減収となりました。ショウテック事業は、販売数量が増加し増収となり、アルミニウム缶は、販売数量の増加により小幅な増収となりました。



## その他部門

リチウムイオン電池関連材料は、販売数量が増加し増収となり、昭光通商株式会社は、金属事業の販売が堅調に推移し増収となりましたが、エンジニアリング事業は、事業の縮小に伴い減収となりました。



本年より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、従来の「石油化学」、「化学品」、「電子・情報」、「無機」、「アルミニウム他」の5つの部門から「石油化学」、「化学品」、「エレクトロニクス」、「無機」、「アルミニウム」、「その他」の6つの部門に変更いたしております。

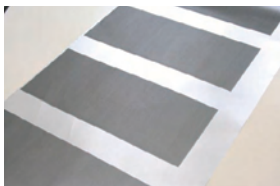


2011/1 **化学品部門**  
**液晶パネル向け低環境負荷型  
 高純度ガス設備を新設**

当社は、東長原事業所において液晶パネル向け低環境負荷型の高純度フッ化カルボニル生産設備の新設を、本年7月に完了しました。

2011/1 **その他部門**  
**リチウムイオン電池用  
 カーボン下地アルミ箔の本格的販売を開始**

当社グループは、リチウムイオン電池の正極集電板に用いられ、電極の低抵抗化を可能とするカーボン下地アルミ箔(SDX®)の量産化および本格的な販売を開始しました。



カーボン下地アルミ箔(SDX®)

2011/6 **環境産業見本市  
 「日中グリーンエキスポ2011」に  
 出展**

当社は、中国・北京で本年6月1日から3日まで開催された「日中グリーンエキスポ2011」に出展し、先端電池材料、半導体高純度ガス、機能性樹脂など環境配慮型の製品・技術を中心に紹介しました。

2011/6 **化学品部門**  
**当社グループ内における  
 産業ガス事業再編を決定**

当社は、当社の酸素・窒素・アルゴン等のセパレートガス事業、圧縮水素事業ならびに炭酸ガス・ドライアイス事業等を、2012年1月1日に、子会社の昭和炭酸株式会社へ承継することを決定しました。

2011/3 **石油化学部門**  
**芳香族事業に関する  
 共同事業会社を設立**

当社および新日鐵化学株式会社は、同社大分製造所における芳香族事業(スチレンモノマーおよびベンゼン、トルエン、キシレン)を母体とする共同事業会社を設立することに合意し、本年8月に設立しました。

2011/4 **導電性インクの製造・販売および  
 開発について米社と提携**

当社は、今後成長が見込まれるプリンテッドエレクトロニクス分野において米国NovaCentrix社と提携し、同社の導電性インクの製造・販売と、同社の光焼成技術に対応した導電性インク等の開発を行います。

2011

1

2

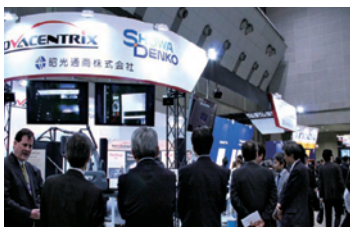
3



「日中グリーンエキスポ2011」に出展



昭和炭酸株式会社



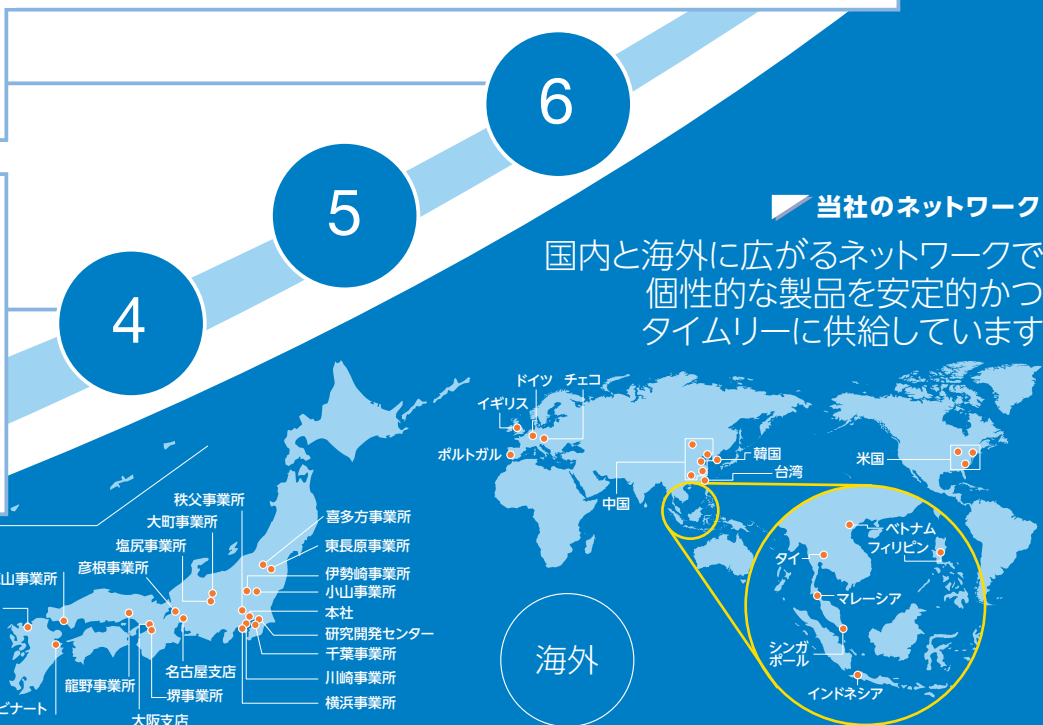
「プリントエレクトロニクス展」の様子

**2011/6** **アルミニウム部門**  
**自動車空調用熱交換器事業譲渡に関する最終契約を締結**

当社は、自動車空調用熱交換器事業の株式会社ケーヒンへの譲渡に関する最終契約を締結いたしました。当社は、事業を承継する新会社を設立し、本年10月、同社に、新会社の株式の60%を、残り40%の株式は2013年をめどに譲渡する予定です。

**2011/6** **化学品部門**  
**エレクトロニクス分野向け高純度アンモニア事業の強化を決定**

当社は、エレクトロニクス分野向けに需要の拡大が期待される高純度アンモニアの生産能力を、日本・台湾・中国の3拠点において引き上げます。充填や貯蔵設備の増強、生産工程の効率化等の工事を実施し、本年末までに、3拠点合計で現状の年産3,000トンから5,000トンの体制とします。



# 連結財務諸表

## ▶ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 平成23年6月30日現在	前 期 平成22年12月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>322,650</b>	<b>312,181</b>
現金及び預金	37,128	43,627
受取手形及び売掛金	146,529	135,611
たな卸資産	108,001	100,658
その他	31,308	32,621
貸倒引当金	△ 316	△ 336
<b>固定資産</b>	<b>604,723</b>	<b>612,302</b>
有形固定資産	496,060	499,836
無形固定資産	11,976	12,155
のれん	2,041	2,631
その他	9,935	9,524
投資その他の資産	96,687	100,311
投資有価証券	60,542	58,813
その他	36,764	42,163
貸倒引当金	△ 620	△ 665
<b>資産合計</b>	<b>927,373</b>	<b>924,484</b>

(単位：百万円)

科 目	当中間期 平成23年6月30日現在	前 期 平成22年12月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>331,962</b>	<b>328,667</b>
支払手形及び買掛金	102,332	114,234
借入金・社債・コマーシャルペーパー	156,304	142,574
その他	73,326	71,860
<b>固定負債</b>	<b>306,951</b>	<b>310,851</b>
借入金・社債	202,998	208,461
退職給付引当金	25,175	26,295
その他	78,777	76,096
<b>負債合計</b>	<b>638,913</b>	<b>639,519</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>242,559</b>	<b>239,525</b>
資本金	140,564	140,564
資本剰余金	62,223	62,223
利益剰余金	39,916	36,916
自己株式	△ 143	△ 178
<b>評価・換算差額等</b>	<b>2,310</b>	<b>2,114</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>43,591</b>	<b>43,325</b>
<b>純資産合計</b>	<b>288,460</b>	<b>284,965</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>927,373</b>	<b>924,484</b>



## ▶ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成23年 1月 1日から 平成23年 6月30日まで	平成22年 1月 1日から 平成22年 6月30日まで
売上高	416,527	384,099
売上原価	350,479	323,031
売上総利益	66,048	61,067
販売費及び一般管理費	43,948	43,323
① 営業利益	22,100	17,744
営業外収益	2,418	2,543
営業外費用	6,463	6,239
経常利益	18,055	14,049
特別利益	1,346	2,946
② 特別損失	8,412	6,187
税金等調整前四半期純利益	10,989	10,808
法人税等	1,795	1,893
少数株主損益調整前四半期純利益	9,194	—
少数株主利益	1,385	1,214
四半期純利益	7,810	7,701
一株当たり四半期純利益	5.22円	5.15円

## ▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成23年 1月 1日から 平成23年 6月30日まで	平成22年 1月 1日から 平成22年 6月30日まで
③ 営業活動による キャッシュ・フロー	13,906	20,012
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 19,168	△ 23,242
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,355	△ 18,015
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 27	△ 1,141
現金及び現金同等物の 増減額	△ 6,644	△ 22,386
現金及び現金同等物の 期首残高	43,459	62,507
その他の現金及び 現金同等物の増減額	39	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高	36,854	40,122

## ▶ 連結決算対象会社

連結子会社数：41社

持分法適用会社数：17社

## POINT

- ① 営業利益 東日本大震災の影響はあったものの、石油化学、無機部門が大幅な増益となり、前年同期比では、44億円の増益となりました。
- ② 特別損失 東日本大震災後の操業停止期間における固定費や、流通施設・生産設備の被害等により29億円を計上しました。
- ③ 営業活動によるキャッシュ・フロー 原料価格の上昇等による運転資金の増加等により前年同期比△61億円となる139億円となりました。

▶ **会社概要** (平成23年6月30日現在)

社 名 昭和電工株式会社  
 英 文 社 名 Showa Denko K.K.  
 本 社 〒105-8518 東京都港区芝大門一丁目13番9号  
 電話(03)5470-3111(総務グループ)  
 設 立 昭和14年6月  
 資 本 金 1,405億64百万円  
 従業員数(連結) 11,790名  
 ホームページ <http://www.sdk.co.jp/>

▶ **役員** (平成23年6月30日現在)

**取締役・監査役**

代表取締役会長 高橋 恭平  
 代表取締役社長兼社長執行役員 市川 秀夫  
 取締役兼常務執行役員 塚本 建次  
 取締役兼常務執行役員 村田 安通  
 取締役兼執行役員 鯉沼 晃  
 取締役兼執行役員 酒井 仁和  
 取締役兼執行役員 福田 俊司  
 取締役兼執行役員 岩崎 廣和  
 ※取締役 秋山 智史  
 常勤監査役 伊藤 博  
 常勤監査役 野村 一郎  
 ※監査役 糸田 省吾  
 ※監査役 手塚 裕之  
 ※監査役 小原 之夫  
 (注) ※印の取締役および監査役は、社外役員であります。

**執行役員**

常務執行役員 宮崎 孝  
 常務執行役員 白石 俊一  
 常務執行役員 坂本 明  
 執行役員 牧 昌和  
 執行役員 水野 義治  
 執行役員 天野 賢  
 執行役員 遠藤 政宏  
 執行役員 Robert C. Whitten  
 執行役員 中條 哲夫  
 執行役員 西村 嘉介  
 執行役員 水谷 温  
 執行役員 武藤 三郎  
 執行役員 石川 二朗  
 執行役員 上口 啓一  
 執行役員 高崎 完二

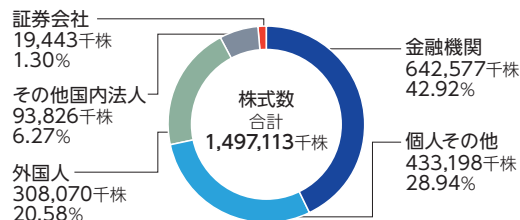
▶ **株式の状況** (平成23年6月30日現在)

発行可能株式総数 ..... 3,300,000,000株  
 発行済株式総数 ..... 1,497,112,926株  
 株主数 ..... 112,249名

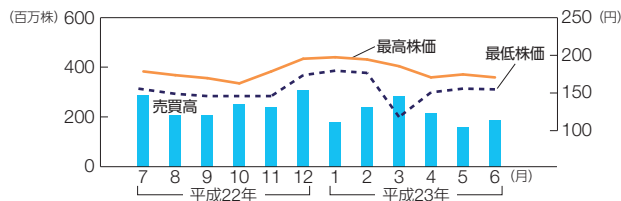
▶ **上位10名の株主** (平成23年6月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	75,176	5.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	66,330	4.43
富国生命保険相互会社	55,168	3.68
第一生命保険株式会社	45,000	3.01
全国共済農業協同組合連合会	44,920	3.00
株式会社損害保険ジャパン	41,868	2.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	37,035	2.47
日本生命保険相互会社	28,711	1.92
明治安田生命保険相互会社	26,447	1.77
昭和電工従業員持株会	21,070	1.41

▶ **株式の所有者別状況** (平成23年6月30日現在)



▶ **株式データ**



# 化学のチカラで ひとつひとつカタチへ。

ペガサスにおいて、研究開発資源を集中的に投入する2つの中核事業領域から次の成長の種を「具体化。」することで、人々が思い描いた夢をひとつひとつカタチへしていきます。

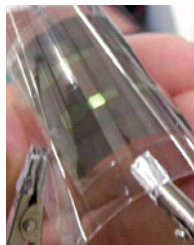
## プリントドエレクトロニクス

### プリントドエレクトロニクスに注目

エレクトロニクス産業は今後、「薄い、軽い、割れにくい」特長を持つ製品の製造を実現するため、印刷技術を活用した低コスト化、プロセス統合に向かうと予想されます。

プリントドエレクトロニクスとは、印刷を利用し電子部品を製造する技術であり、従来の半導体や金属、絶縁体といった材料を個別に成膜する方法に比較し製造工程が大幅に簡

略化されます。また、製造プロセスの低温化や省資源化にも大きく寄与し、環境調和技術としても魅力が大きく、



有機EL



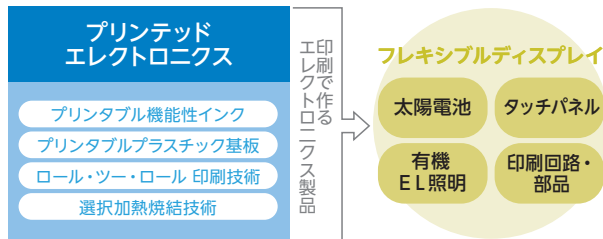
太陽電池



ID媒体のアンテナ

ディスプレイや太陽電池、有機EL照明等の幅広い分野への応用が期待されています。

当社は、固有かつ優位性のある素材技術と革新的な技術の開発で、この分野を幅広く支えるキーマテリアル、キープロセスの開発を推し進め、機能性インク、プラスチック基板やインクの焼結技術といったプリントドエレクトロニクス分野への参入を目指しています。

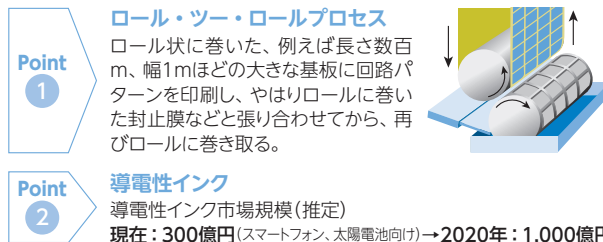


### 導電性インクで実現します。

本年4月にプリントドエレクトロニクス分野で提携した米国NovaCentrix社の光焼成技術は、導電性インクだけを選択的に加熱できるため、プラスチック基板上に極めて短時間に配線を形成することができます。また、プラスチック基板としてフィルムを使用するため、効率の高いロール・ツー・ロールプロセス<sup>①</sup>での生産が可能であり、薄くて軽くフレキシブルな低コストの電子デバイスの製造に最適な技術といわれています。

今後、当社の保有する金属をはじめとする無機材料や有機材料の技術を活用することで、同社の持つ光焼成技術をさら

に生かす高性能な導電性インク<sup>②</sup>を共同開発し、印刷で作るエレクトロニクス製品という夢をカタチにしていきます。



## WEBサイトのご紹介

当社WEBサイトでは、各種R情報をご覧いただけます。

▶▶▶ <http://www.sdk.co.jp/>



コーポレートサイト



Rサイト

## 株主メモ

**事業年度** 毎年1月1日から12月31日まで  
**定時株主総会** 3月  
**株主確定基準日** (1) 定時株主総会・期末配当 12月31日  
 (2) 中間配当 6月30日

その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

## 公告方法

電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。公告掲載URL <http://www.sdk.co.jp/>

## 単元株式数

1,000株

## 株主名簿管理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

## 同事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL. 0120-288-324

(郵便物送付先)  
(電話お問い合わせ先)

## 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社へお願いいたします。株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)へ預託されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記のみずほ信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話お問い合わせ先へお願いいたします。未払配当金については、株主名簿管理人に加え、みずほ銀行株式会社の全国本支店でもお取扱いいたします。

## ご案内

当社は、「単元未満株式の買増制度」を導入しております。1単元(1,000株)に満たない株式をご所有の株主様は、単元未満株式と併せて1単元になる株式を買増請求することができます。お手続などの詳細については、当社株主名簿管理人(みずほ信託銀行)へお問い合わせください。なお、単元未満株式の買取請求につきましても、従来どおりお取扱いいたします。

## 世界化学年2011



International Year of  
**CHEMISTRY**  
2011

2008年末の国際連合総会で、キュリー夫人のノーベル化学賞受賞から100年目にあたる2011年を「世界化学年」とすることが決定されました。化学に対する社会の理解増進、若い世代の化学への興味の喚起、創造的未來への化学者の熱意の支援などを目的に、日本では、「世界化学年日本委員会」を発足させ、化学の一層の振興と社会への普及活動を行っています。



適切に管理された森林資源を用紙の材料にしています。



IPA(イソプロピルアルコール)等の有害物質を含む「湿し水」を使わない水なし印刷を採用し、VOCの発生を大幅に削減しています。



VOC(揮発性有機化合物)の発生が少ない、ベジタブルインクを使用しています。



色覚の個人差を問わず出来るだけ多くの方に見やすいユニバーサルデザインにしています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。